

**クリ「美玖里」における雌花の着生が多い優良な結果母枝の資質**

「美玖里」の結果母枝は、前年未結果枝では基部径が太く長いものほど雌花の着生が多く、前年結果枝では基部径および先端部径が大きいものほど雌花の着生が多い。また、2次伸長した枝は、2次伸長していない枝よりも多く雌花が着生し、特に90 cm未満のもので10 cm当たりの雌花の着生が多い。

農業研究センター球磨農業研究所（担当者：重本 万穂）

**研究のねらい**

クリ「美玖里」は、平成23年度に品種登録された晩生の新品種であり、食味が良く、収量性が優れることから、平成26年度から本県の推奨品種に位置付け、振興を図っている。

本品種は、樹勢が強く、枝が徒長しやすいが、徒長した枝にもよく雌花を着ける特徴的な性質をもっている。そこで、雌花の着生量に着目し、優良な結果母枝の資質を明らかにする。

**研究の成果**

1. 「美玖里」の前年未結果枝（着痕のない枝、発育枝）は、基部径が太く長いほど雌花の着生が多い（図1、図2）。
2. 「美玖里」の前年結果枝（着痕のある枝：写真1）は、基部径および先端部径が太いほど雌花の着生が多い（図2、図3）。また、前年未結果枝よりも前年結果枝のほうが雌花の着生が多い。（図1、図2）。
3. 2次伸長している枝は、全枝の1割程度の発生であるが、2次伸長していない枝に比べて雌花の着生が多い（表1）。
4. 100 cm以上の枝にも雌花が多く着生するが、10 cm当たりの雌花数では30 cm～90 cm程度の枝で多い（表1）。

**普及上の留意点**

1. 球磨農業研究所（球磨郡あさぎり町）において、「美玖里」の9年生から11年生を用いて試験した結果である。
2. 前年未結果枝よりも前年結果枝のほうが雌花の着生が多いが、枝の先端に発生する前年結果枝を多用すると樹高が高くなるため注意が必要である。

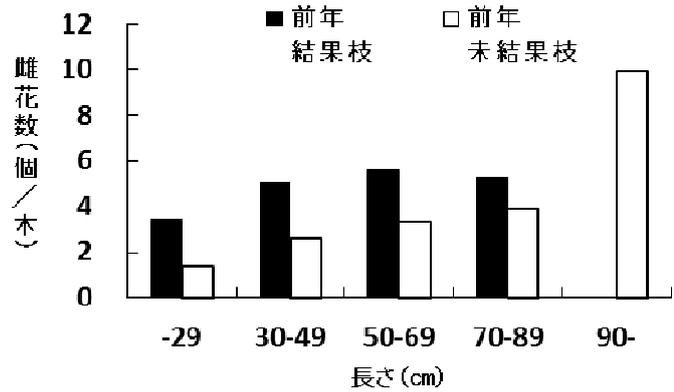


写真1 前年結果枝の着穂痕

図1 「美玖里」の結果母枝の長さとの雌花着生数

注1) 調査年：2015年～2016年

注2) 前年結果枝、前年未結果枝とも2次伸長をした枝は含まない

注3) 雌花数調査：6月20日

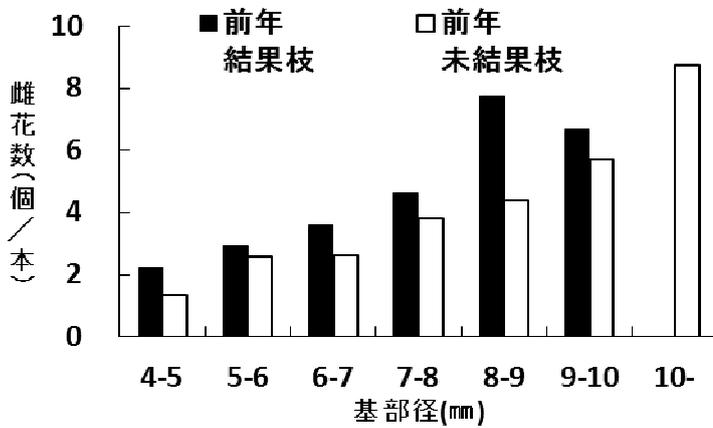


図2 「美玖里」の結果母枝の基部径との雌花着生数

注1) 調査年：2015年～2016年

注2) 基部径：結果母枝の基部から5cmの長径

注3) 前年結果枝、前年未結果枝とも2次伸長した枝は含まない

注4) 雌花数調査：6月20日

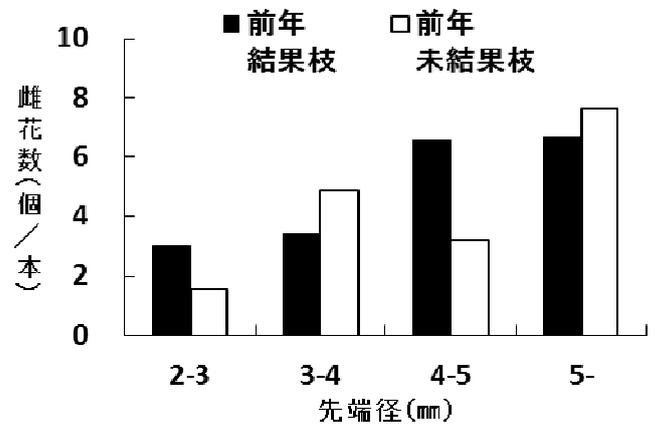


図3 「美玖里」の結果母枝の先端径との雌花着生数

注1) 調査年：2015年～2016年

注2) 先端径：結果母枝の先端3～4芽の中間の長径

注3) 前年結果枝、前年未結果枝とも2次伸長した枝は含まない

注4) 雌花数調査：6月20日

表1 「美玖里」の結果母枝の2次伸長の有無と長さによる雌花着生数

| 種類    | 長さ (cm) | 母枝数 (本) | 雌花数 (個/本) | 10cm当たり雌花数(個) |
|-------|---------|---------|-----------|---------------|
| 2次伸長有 | 50-69   | 12      | 14.2      | 1.6           |
|       | 70-89   | 10      | 15.1      | 1.5           |
|       | 90-129  | 11      | 11.7      | 0.8           |
|       | 130-    | 9       | 16.7      | 0.8           |
| 2次伸長無 | 30-49   | 129     | 5.0       | 0.9           |
|       | 50-69   | 61      | 5.6       | 0.7           |
|       | 70-89   | 27      | 6.9       | 0.7           |
|       | 90-129  | 13      | 11.2      | 0.7           |
|       | 130-    | 6       | 11.5      | 0.5           |

注1) 調査年：2014年～2016年

注2) 2次伸長有、無とも前年結果枝、前年未結果枝の双方を含んでいる

注3) 母枝数：ランダムに実施した調査本数を示す

注4) 雌花数調査：6月20日